

ミツバチ軍団 いざ出陣

第104回全国高校サッカー選手権大会 開幕

千西一遇

第124号
発行
2025年
12月29日(月)
上田西高校
新聞委員会
編集局

編集局長：菊池ひとみ
新聞委員長：斎藤瑠心
大澤 理子
大島 美唯
レイアウト：菊池ひとみ



第104回全国高等学校サッカー選手権大会開会式で入場行進をする上田西の選手達

12月28日(日) 東京都の国立競技場で、第104回全国高校サッカー選手権大会の開会式が開催された。入場行進の際のパフォーマンスでは、宮川航汰主将(進学3年)中込が真田の六文銭の陣羽織を羽織りながら歩いた。上田西は前回大会でベスト8の成績を残し、2大会連続4度目の出場。1回戦は、本日、ニッパツ三ツ沢球技場で2大会ぶりの出場となる滋賀代表水口高校と対戦する。(菊池ひとみ)

開会式では地元の戦国武将真田氏の六文銭を掲げ行進 白尾監督へのサプライズで与論島アピールも

各校が名産物や文化などを披露し地元をアピールする恒例の選手権入場行進。昨年は、8年前と同様、縁起物のりんごを持って行進したが、今年

各校が名産物や文化などを披露し地元をアピールする恒例の選手権入場行進。昨年は、8年前と同様、縁起物のりんごを持って行進したが、今年



真田の六文銭を掲げ地元をアピール

は、地元上田の戦国武将・真田家の「六文銭」のタオルを掲げた。六文銭は、三途の川の渡賃。真田氏は六文銭を用いることで、背水の陣を引き、死をも

「どの高校も県大会を勝ち上がってきているので強そう」としながらも「自分たちの良きを出せば勝ると思った」、「更なる高みを目指すために覚悟を持って倒していきたい」、「去年より上田西を応援してくれる人がスタンドに増えたので頑張りたい」と意気込んでいる。

初戦へ向け調整は順調「チームの雰囲気はよくなっている」

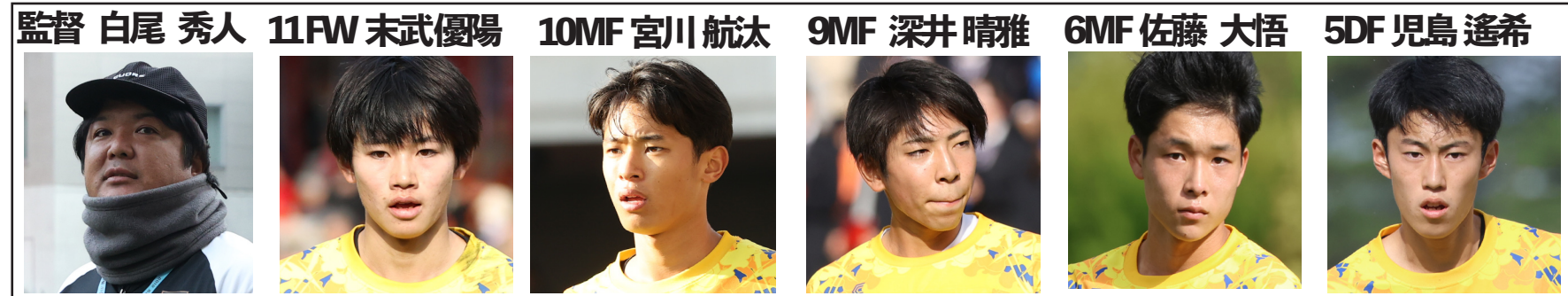
試合を翌日に控え、複数の選手に意気込みを聞いた。宮川主将は「これまで準備してきたことをしっかりと発揮できるように全員で戦いたい」と決意を示し、自身のアピールポイントについては「スピードを生かした縦へのドリブルとリーダーシッ

「悪くなってきている」と口を揃える選手達。白尾監督も「チームが一つにまとまってきて、いい雰囲気になってきた」、若田玲央コーチは「ここまで故障者もおらず昨年より状態はいい」と語る。再び全国の舞台で西高旋風を巻き起こす準備は整った。

開幕試合は昨年以上田西高校が2回戦で対戦した徳島市立が、開催地の早稲田美業を4-1で下して快勝し、2回戦に駒を進めた。

監督も「チームが一つにまとまってきて、いい雰囲気になってきた」、若田玲央コーチは「ここまで故障者もおらず昨年より状態はいい」と語る。再び全国の舞台で西高旋風を巻き起こす準備は整った。

大澤 理子、斎藤 瑠心、菊池ひとみ



7FW

平松 優樹

攻撃の中心

無尽蔵のスタミナで敵陣を切り裂く

上田西の攻撃の中心となるFW平松優樹(進学3年)は、長野県大会通算ゴールを決めた上田西が誇る快速ストライカー。走力と体力を生かしたプレスと武器に長野県大会準決勝では、ハットトリックを記録する活躍を見せるなどチームの勝利に貢献し続けた。

試合では、前へ前と進んでいき、ゴールを狙う上田西の掲げる三原則である「球際、声、ハードワーク」のうちハードワークを特に体現する。試合中は自慢の走力を活かし、緊迫したボールを追いかけ続ける。

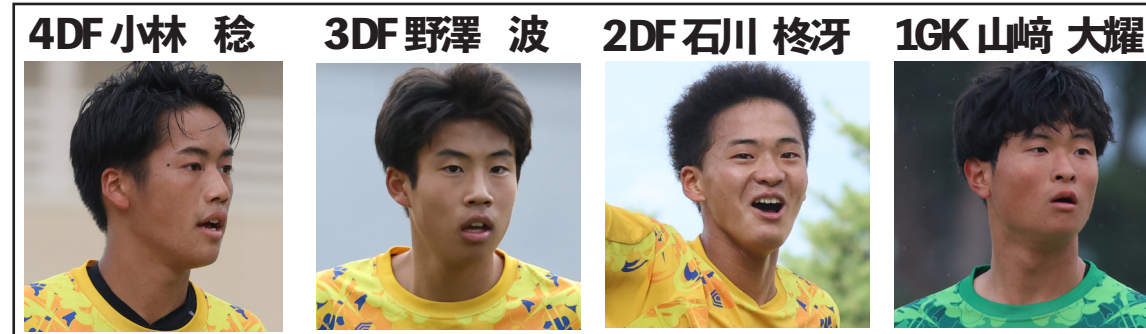
全国大会1回戦の対戦相手水口高校は中盤にアーカー1人のみを置く基本フォーメーションで挑んでくると予想される。

中盤の人数は上田西が数的優位に立つことができない組み合わせとなっており、中盤のボール奪取からのカウンター攻撃では平松の走力が相手の脅威となる。相手は柔軟にフォーメーションを変化させてくることも予想されるため対応力も問われる。

長野県大会の活躍により、注目度の高い選手となった平松は、相手からの徹底マークは確実。それをこぎ開けることができれば、チームが得意としているパターンで得点につながるはずだ。

県大会で十分に活躍した平松は、全国大会ではどんな活躍をするだろうか。上田西を応援している人々の注目は、平松の足に集まっている。

(大島 美雄)



第104回全国高等学校サッカー選手権大会
1回戦 VS 水口
予想スターティングメンバー



MF8

真下 凜

守備の中心

中盤を支配する西高のボールハンター

上田西の守備の要となるのは、MF真下。相手の攻撃を抑え、中盤を支配するのがこの男である。

守備と攻撃の繋ぎを果たすボールハンターは、攻撃の組み立て、守備潰しを得意とし、攻撃の場でもチームの勝利のために貢献する。肝心な守備の場面では、前線から激しくプレッシャーをかけ、ボールを奪い取り、自分たちのペースに引き込むことを得意とする。広範囲でボールに絡むプレイヤーだ。

また、試合中には積極的なコーチングでチームをまとめているのも印象的だ。プレーの指示を出すのに加え、喝を入れて全員を試合の気持を高めて、上田西が掲げる「声・球際・ハードワーク」

の三原則のうち主に「声」でチームをまとめる。

全国大会初戦の相手、水口高校は中盤に1人を置く基本フォーメーションだ。中盤のボール争奪戦において優位に立ち、最前線へボールを回さないようにする対応や、カウンター攻撃の起点としての真下の活躍が上田西を勝利へと導くこの試合最大の鍵となるのではないかと。

長野県大会を輝きを見せた守備の中心である真下の活躍でセカンドボールを回収し、相手の基本フォーメーションに生まれるスペースを上手く使いつながら、コンビを組むMF佐藤大悟(進学3年)・新井 長岡市立関原と共にチャンスメイクを担う。

(大島 美雄)



**第104回全国高校サッカー選手権大会
上田西高校登録メンバー**

- 1 GK 山崎 大耀 1年上田第一
- 2 DF 石川 柁冴 3年塩田
- 3 DF 野澤 波 1年栃木・真岡市立大内
- 4 DF 小林 稔 3年坂城
- 5 DF 児島 遙希 2年依田窪南部
- 6 MF 佐藤 大悟 3年新潟・長岡市立関原
- 7 FW 平松 優樹 3年松川
- 8 MF 眞下 凜 3年東京・青梅市立霞台
- 9 MF 深井 晴雅 3年東御東部
- 10 MF 宮川 航汰 3年中込 (主将)
- 11 FW 未武 優陽 3年埼玉・熊谷市立富士見
- 12 GK 湯田 拓海 3年上田第四
- 13 MF 村山 大翔 3年上田第二
- 14 FW 宮下 琉之 3年松川
- 15 DF 渡邊 公輝 2年神奈川・相模原市立上鶴間
- 16 MF 門田 侑都 2年岐阜・大野町立揖東
- 17 FW 山崎 瑠唯 3年東御東部
- 18 DF 石川 楚也 3年埼玉・朝霞市立朝霞第二
- 19 DF 安齋 璃久 3年中込
- 20 FW 細井凜太郎 2年戸倉上山田
- 21 MF 田村 透陽 1年埼玉・さいたま市立美園
- 22 DF 小宮山煌太 3年京都・京都市立大枝
- 23 GK 石澤 和樹 2年川中島
- 24 DF 塚田 琥南 2年犀陵
- 25 MF 塩入 暖也 2年望月
- 26 DF 佐々木優空 2年神奈川・海老名市立今泉
- 27 FW 石亀 悠斗 2年東京・荒川区立第七
- 28 MF 柳原 兼哉 1年千葉・千葉市立松ヶ丘
- 29 DF 内川 翔太 2年上田第六
- 30 FW 小林 笙珠 1年上田第四

監督 白尾 秀人
総監督 武田 善和
コーチ 苫田 玲央
コーチ 山本 海晴
コーチ 小林 健二
トレーナー 林 吉尚

開会式 フォトギャラリー

